
大切な物

さんま缶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大切な物

【Nコード】

N0414Q

【作者名】

さんま缶

【あらすじ】

ある男が大金持ちになろうとし、芸能人になる。

夢が叶い、大金持ちになった男はある事により職を失い、ホームレスになる。

そんな中で、本当に大切な物に出会う。

デビュ－（前書き）

僕の初めての作品ですので、暖かく見守ってください。

ちなみに僕は小学生です。

デビュー

僕は22歳の平凡な大学生、だがそんな平凡な生活も飽きてしまった。

なので僕は平凡な生活を脱しようと、大金持ちになる決心をした。

大金持ちになるには仕事が必要だ。なので僕は大金持ちになれそうな職種をあげてみることにした。

「医者」、「スポーツ選手」、「弁護士」・・・あげてみると切りがない

そんな中で僕が目をつけたのは、「歌手」である。なぜ歌手にしたかと言うと、自分で言うのもなんだが歌がものすごいまいのである。(エッヘン)

そうして僕は歌手になる決心をした。

さて、いざ歌手になるといつてもどうすればいいのかわからない。とりあえず、オーディション番組に出てみることに決めた。

そんなこんなで一週間がたち、オーディション番組当日となった。僕は某テレビ局に行き、少し緊張しながらも収録が始まりいつの間にか僕の番がやってきた。

僕は激しい緊張の中、歌い始めた。その瞬間、さつきまでザワついていた会場はイッキに静まり返った。みんな鳩が豆鉄砲くらったようにビククリしている。

「みんなどうしたんだろう」

そうして全部歌い終わった途端に、会場に拍手の雨が降り注いだ。僕はとても気持ちよかった。

次に審査員の評価の時間だ。審査員一同はみんな声を合わせて「日本のスーザンボイルだ！」
と言っている。

そうしてこのオーディション番組をきっかけに、多くの番組にひっぱりだこになった。

「じつして僕は、最高のデビューを飾った。」

トラップ

そんなこんなで歌手でデビューを果たした僕は、次々と大ヒットを飛ばしついに、某テレビ番組が放送する年末の長寿番組に出演するようになり、年収10億円という大金持ちになった。

そんな時ある女性に出会った、沙紀という大手広告会社に勤めるOLのようだ。

その女性は魅力的で、一目惚れしてしまった。

ぼくは得意の財力を使って、沙紀を自分に惚れさせようと思った。

高級ブランドのバックや、財布を買ってあげたり。「父が病気になるった！」沙紀がいえば、すぐに僕は1億円の大金をあげた。

そんなことをしているうちに、彼女に合計で10億円程の大金を注ぎ込んだ。

そのかいあってか、彼女と交際をするようになった。

そしてついに彼女と婚約にまでこぎつけた。

そんな充実した毎日を送っているある日、彼女が消えた・・・

失踪したのだ。部下を使い搜索をしたが見つからない。

そして僕は気づいた・・・

結婚詐欺にあったのだと。

本当なら警察に届出を出すところだが、大人気歌手が結婚詐欺あったと知られると、

イメージが悪くなってしまうからである。

なので僕は警察に届出を出さなかった。

そんな僕に追い討ちをかけるように、
黒い影が近づいてきた。

次回につづく・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0414q/>

大切な物

2011年1月11日20時37分発行